

## 令和3年度 第8回頸城区地域協議会次第

日時：令和3年12月13日（月）  
午後6時00分～  
場所：頸城コミュニティプラザ  
2階 203会議室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 報 告 事 項

- 令和3年大雪災害対応の検証と令和3年度冬期道路交通確保除雪計画について

4 そ の 他

5 閉 会

【頸城区】

地域協議会に関する意識調査結果を受けた取組に係るアンケート

敬称略、会長・副会長以下名簿順

委員名	問1 : 会議の開催日時について	問2 : 地域協議会が地域住民に知られていないが、どのような取組が必要か。	問3 : 地域協議会として子どもたちの意見や地域の声をどのように把握するか。
上村 闔一	今までどおり6:30でよいと思う。	基本的には、市長の諮問機関であり、どのように拡大解釈するか？	子どもたちと直接声をきくというよりも今後いろいろな組織と関わっていくか。
佐野 喜治	現状通りで問題なし。特に変更すべき場合は、都度検討すべき。	意見交換会の方法を各種団体主体などと言うことで無し、当初のように各地域を周り、地域住民との意見交換をメインにすべきである。前回関連で事務局に質問したが、全く底の浅い回答で、懸念していたことが現実となりつつある。併せて「頸城区総合事務所」としての構えが必要である。当初のように、共同開催。総合事務所の立ち位置をアピールする場が必要。全く知られていないわけでは無いと思われる。関心のある人は知っている。	左記考えで全く間に合う。更に、「自主的審議事項に関わる部会の設置について」の内規に「部会は必要に応じて団体等や市関係課等との意見交換を行うものとする。」とある。今頃何を言っているのだろう。子供会・育成会はとりわけ町内会・まさに公民館分館・各地区振興会と密接な関係でありたい。それら含めてとりまとめているのが、他ではまちづくり振興会と言うことだが、頸城では「くびき振興会」はその体をなしているのか？ ※子供会関連：行政サイドからは「こども・子育て支援総合計画（上越市エンゼルプラン）なるものがあるらしい。どの様な支援・バックアップ等があるのか？
小川 泉	現状のままでもよい。	地域協議会だよりのチラシを年間の数を増やす。	各世代及び住民からアンケートを取る。
笠原 昇治	今迄通りで良いと思います。	町内会長会議等でお知らせし、年に何回地域協議会の主旨等と内容を「たよりとして出す」回覧等で。（振興会だよりで紹介する）	中学校や小学校に出向いて学校側と相談して地域協議会のメンバーと意見交換の場を設ける（子供達が描く、地域への思い等）
佐藤 学	夕方からに設定せず、日中はどうか。試験的にやってみる。	①知ってもらーPRがよい→どうする？ーポスター ②ネットでコメント作成できるようにする。 ③定期的な説明会（懇談会）の実施	ネットの活用
新保 哲男	現状で良い。問題は無いと思います。	・頸城区民が本当に困っている課題への取り組みと情報発信 ・災害対策（自然災害、地震、大雨、雪害）の具体的な取り組みと情報の定期発信 ・町内会との合同会議懇談会の実施	・年代別にアンケートを実施する ・町内会と合同会議で意見を吸い上げる
滝本 篤透	・月末だと欠席せざるを得ない ・月中旬がよい。火、木	・市民活動団体との合同会議（代表者他） 地域自治に感心がなければ、知ろうと思わない。（頸城をどうしたいか？フリートークも必要か）	・各小学校、中学校、児童会、生徒会の代表参画型の会議を開催（日中）
西巻 肇	現状でよいと思います。	広報紙のありかた、内容の見直し、具体策は現在ではないのだが検討は必要かと感じる。	小学校高学年、中学生との意見交換は必要だと思います。現状での学生の意識調査等（事前に情報提供要）を実施した後、意見交換を実施する手順が良いと思います。
船木 貴幸	今まで通りで	新市長の考え次第	同左
宮澤 房子	今まで通り（できましたらもう少し早い時間が良いと思います）	市長次第	同左
望月 博	月末の週の水、木曜日の夕方6時又は6時30分から 横山委員・月毎に開催日を予め決めておけば出席率も上がる 滝本委員・月末は避けて欲しい（商売をしていると月末は×日、支払い日があるので） ・曜日を予め決めてもらってあると、他の会議とブッキングしないで済む	区内の五振興会を回り、他区の問題を聞き取る。そこで聞き取った課題を部会で検討し、どうするか方向を決めていく。	区内の4小中学校を回り、児童会や生徒会、PTAと話し合う機会を設けて、意見や問題点を聞き取る。
山本 誠信	今までの日時で良いと思います。	2、3ヶ月に1回程度、協議会の活動を報告して、住民から意見を委員又は事務局に知らせてもらう。	学校の後援会、PTA等と意見交換の出来る様にしてはどうか。
横山 一雄	現状では、会長及び市との都合的な話し合いで決定されてる様な受け取りをします。 月の第何週の曜日の開催と計画をいただいた方が私は計画が出来ると思います。	私自身も気が入らない時が有ります。 委員相互の理解が薄いと思う。何よりも自主的審議が足りないと思います。 年間、1～2回程度各団体との会合が必要か？と思う。	各団体、サークル団体、クラブ代表との会合も必要と思う。 町内会長会との協同会議も必要と考えます。
橋本 春美	最終週の水曜日が多いと思い予定を組んできた。 小学校や中学校のPTAに参加することもあるので、あらかじめ日程が決まっていた方がありがたい。	地域協議会委員が何をしているのか、どのような問題や解決のための話し合いがされているか知らなかった。 小中学生に関しては簡単な情報紙で、地域協議会の活動についてまとめることもできるのでないか、私の方で作成してもかまわない。	子どもたちに何かを投げかけるとそれについて調べ、調べれば興味が出る。興味を持つと頸城区を良くしようと思う人がいることを知ってもらうことに繋がる。子どもたちの意見を100%頼りにするのではなく、興味をもってもらー一環として子どもたちや住民の意見を聞く機会が必要。